

# ごみを減らしましょう① ～生ごみ水切り編～

環境保健係

立科町の可燃ごみを焼却処理している川西清掃センターの調べによると、可燃ごみの内、生ごみ（厨芥類）の割合は30%～50%程度を占めています。

更にこの生ごみの内、一般的に80%程度が水分と言われており、生ごみの水分をよく切って軽くすることが、ごみ処理費用の節減に繋がります。

そこで、ご家庭で生ごみの水分を切る方法など、生ごみを減らす方法をご紹介します。

**生ごみの悪臭や腐敗の主な原因は水分ですので、よく水切りすることで、悪臭なども抑えられます。**

## ①きれいな野菜は、皮をむいてから洗いましょ

捨てる部分の皮などを洗うと、水分により重くなります。皮をむいてから洗える物は、そうすることによって、ごみを軽くすることができます。



## ②水分と臭いの少ない生ごみは、濡らさず直接ごみ箱へ捨てましょ

もともと水分や臭いの少ない野菜くずなどは、三角コーナーなどに入れると、他の生ごみや、水道からかかる水分を吸収してしまいますので、余計に濡らさずごみ箱に捨てましょ。

ごみ箱に捨てる前に、食品トレイやざる等の上で乾かすと、より効果的です。



## ③三角コーナーを傾ける、上から重しをする

ごみ袋に入れる前日などに、三角コーナーを傾けておくと水切りの効果が期待できます。また、生ごみの上に軽く新聞片等を置いて、水を入れたペットボトルなどで重しをする方法もあります。

お茶がらやティーバッグは手袋をして手で絞るとい方法も。

市販でも様々な水切りグッズが売られています。



## ④可能であれば、外で乾燥させましょ。

場所を選びますが、新聞紙等を敷いて、風通しの良い屋外で乾燥させると効果的です。エアコンの室外機の風に当たるとよく乾きます。

大きめの物は細かく切ると乾き易くなります。



## 生ごみ処理機器等の補助金制度等をご活用ください

生ごみを収集に出さず、ご家庭での処理が可能な場合は、補助金制度等をご活用ください。生ごみを焼却処理しなければ、収集運搬や処理施設での費用がかからず、それらの燃料などもかかりませんので、一番のエコになります。また、ご家庭での堆肥化などにより、有効利用できれば、循環型社会の実践にもなります。

### ①生ごみ処理機器等購入費補助金

- ・個人が対象（一般家庭用）
- ・補助率は購入価格の2/3、補助上限額6万円
- ・電気式の物のほか、容量300ℓ以下の生ごみ用コンポストなど
- ・1世帯1基1回の補助となりますが、5年以上経過し、使用不可能な場合は再度申請できます。
- ・申請用紙は環境保健係のほか、立科町ホームページにも掲載しています。

### ②ダンボールコンポストによる堆肥化

ダンボールに生ごみと米ぬか・腐葉土等の基材を入れ、混ぜ合わせることで堆肥化する方法です。環境保健係でダンボール箱と腐葉土を提供していますので、お問合せください。